

チームZAITAKU 新メンバー紹介

医師

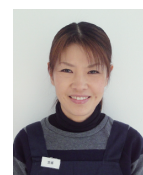
もん ま ふみひこ
門間 文彦

私は亀山市出身で、三重大学医学部を卒業後も人生のほとんどを三重で過ごしてきました。三重が大好きな医師生活18年目の41歳です。これまで、血液内科医として三重大学病院で白血病や骨髄移植を担当しながら多くの患者さんを看取ってきました。そこで思うのは、ひとたび病気を治すことが難しくなった患者さんが最期まで充実した人生を全うするには日本の医療は不便が多いということでした。この状況に対して、大好きな三重のためにできることを模索するうちにチームZAITAKUにたどり着きました。「医師は稀に治し、しばしば助け、常に慰める者である」という言葉に感銘を受けて以来、私も「常に慰める者」として患者さんやご家族に寄り添っていける優しさと強さを身につけられるよう精進していきたいと思っています。不慣れでご迷惑をおかけすることも多いと思いますがどうかよろしくお願いします。

医師

こんどう たけし
近藤 健

私は大学を卒業後、呼吸器外科として勤務して参りました。肺癌については手術を中心に緩和医療や化学療法、他には気管支喘息やCOPD等々の内科診療も行っておりました。また一時期、救命センターでの研鑽にも励みました。直近の4年間は、京都大学大学院で、肺移植の研究に携わっておりました。研究生活の傍ら、地域の病院で当直業務などを行い、病院で行う疾患の管理だけでなく、在宅での医療の大切さを肌で感じました。日本の高齢化はますます進んでおり、在宅医療の重要性は増す一方です。また救急医療に携わっていると、どういった最期を迎えたいか、どのように親を見送りたいかといったことを含めた死生観が、我々日本人に乏しくなっているように感じます。在宅医療、在宅緩和ケアを私のライフワークにしたいとの思いが強くなり、この4月から当院で勤務させて頂いております。よろしくお願いします。



看護師

さいとう まどか
齋藤 麻斗香

- ◆出身地…桑名市
- ◆好きな食べ物…甘いもの。特にチョコレート
- ◆休日の過ごし方…娘と一緒に出かけ
- ◆好きなこと…温泉めぐり、スノーボード
- ◆最後に一言…

もともと興味のあった緩和ケアの分野で仕事ができることを、とても嬉しく思っています。今までとはまったく違う環境で慣れないことも多いですが、頑張りますのでよろしくお願いします。



医療秘書

いわもと みか
岩元 美香

- ◆出身地…四日市市
- ◆好きな食べ物…チョコレート・いちご・ケーキ
- ◆家族…主人・娘2人
- ◆1番楽しいとき…1日の終わりに嵐を観てワインとチョコレート。幸せな時間です。
- ◆最後に一言…

在宅医療の仕事は初めてですが1日も早くチームの一員となってお役に立てるようにがんばります。よろしくお願いします。

看護師だより

Iさんは脳卒中で左半身に障がいが残り、自宅で車いす生活をされています。お孫さんにも囲まれ賑やかなご家庭です。通所リハビリと訪問リハビリを利用しています。慢性期になると懸命に訓練しても思うようには手足は動いてくれません。Iさんの家の前は、なだらかな坂道があります。外出するときには介護タクシーを利用しています。12月下旬の訪問の際に奥様からお話がありました。「家族みんなで外食に行きたい。年末も押し迫ってきたので介護タクシーの手配も難しそう。大人4人で自家用車に移せないか」とのことでした。早速、訪問リハビリ担当の理学療法士がご家族に指導してくれました。お出かけ当日はご家族4人がかりで車に移し、バリアフリーのうどん屋さんで楽しできました。その後、年が明けてからは要領も得、家族3人でスムーズに車に移し大型ショッピングセンターでひと時をすごしてこられました。Iさんは「外の空気を吸うのはええなー。」と呟いたそうです。年末のお出かけ以来、Iさんはよくしゃべるようになり



り明るくなられたことを奥様から伺いました。訪問におじゃまするとIさんはすっきりとした表情を見せてくれます。ご家族の思いは在宅医療チームのスタッフをも動かします。ご家族の支えで住む世界は広がり、人はいつでも変われることを改めて教えていただきました。今度は足を延ばして「お伊勢さん・おかげ横丁」行きを計画中とのことです。みやげ話を楽しみにお待ちしております。

ケアマネだより

どんな困難な時も前向きな精神で立ち向かい、笑顔の絶えないご夫婦。私がSさんご夫婦に初めてお会いしてから約3年、ずっと感じている印象です。

2度の脳梗塞、骨折等を経験され何度も何度も2人で困難に立ち向かってみえました。支援されている方、身内の方のお話をするたびに「感謝」「ありがとう」「皆さんのおかげ」…と必ず話されます。

Sさんは、歩いて散歩がしたいという思いが強く、デイサービスではリハビリを積極的に行っています。自宅では平行棒を設置し、リハビリの先生から指導された運動を毎日の日課とされています。夜間、眠れないのが悩みだという大柄で少し亭主閑白なSさん。そのSさんを支えている小柄な奥様。お互いを尊敬、思やりながら過ごされてきたお二人が仲良く散歩されている姿は本当に微笑ましいです。お孫さんの訪問を目を細めて喜ばれるお二人。いつまでも元気でいてください。

